表紙

第３期磯子区地域福祉保健計画

誰もが幸せに暮らせる町をめざして

スイッチＯＮ磯子　概要版

2016年４月から2021年３月

「スイッチON磯子」は磯子区地域福祉保健計画の愛称です。

計画案内役は「梅さん」です。

第３期計画がスタート！「地域の支え合い」に加え、「健康づくり」もテーマに進めていきます！

地域福祉保健計画とは？

身近な地域の支え合いのしくみづくりを進めることを目的として策定した計画です。

住民、事業者、公的機関（行政、社会福祉協議会、地域ケアプラザ等）が福祉保健などの地域の課題解決に一緒に取り組んでいきます。

【磯子区の状況】

人口と将来人口推移

2015年（平成27年）総人口　163,861人　65歳以上　26.2％　15歳～64歳　61.4％　14歳以下　12.0％

2025年（平成37年）総人口　150,743人　65歳以上　31.1％　15歳～64歳　58.5％　14歳以下　10.4％

出典：横浜市統計ポータルサイト［人口ニュース］（カクネン１月１日現在）、横浜市政策局「横浜市将来人口推計」

世帯数・世帯当たりの人員数の推移

世帯数

2005年（平成17年）　68,804世帯

2010年（平成22年）　71,463世帯

2015年（平成27年）　72,906世帯

世帯当たりの人員数

2005年（平成17年）　2.37人

2010年（平成22年）　2.29人

2015年（平成27年）　2.25人

出典：横浜市統計ポータルサイト［人口ニュース］（各年１月１日現在）

磯子区も人口減少、少子高齢化が進んでいきます。高齢者の割合が増え、少人数の世帯が増えています。家族だけでなく、地域で支えあっていくことが必要です。

横浜市の平均寿命と健康寿命（平成22年）

女性

健康寿命　74.14歳　平均寿命　86.79歳　差　12.65歳

男性

健康寿命　70.93歳　平均寿命　80.29歳　差　9.36歳

出典：厚生労働省

高齢化が進む中、健康寿命を延ばして、地域の中でいきいきと楽しく暮らしましょう。

２ページ

第３期磯子区地域福祉保健計画

第３期磯子区地域福祉保健計画は、第２期計画から引き継ぐ基本理念「誰もが幸せに暮らせる町をめざして」のもと、３つの基本目標を掲げました。この目標は、私達が住み慣れた磯子区で、安心して暮らしていくために必要な視点であり、９つの地区と区役所・区社協（磯子区社会福祉協議会）・地域ケアプラザが連携しながら目指していくものです。

第３期計画は９つの地区が中心となって取り組む地区別計画と、行政・関係機関が連携して取り組む区役所・区社協・地域ケアプラザの取組で構成されています。

第３期計画の３つの特徴。

ポイント１　３つの基本目標を掲げました。

ポイント２　その目標をめざし、地区が中心になって取り組む「地区別計画」と「区役所・区社協・地域ケアプラザの取組」を設けました。

ポイント３　「地区別計画」に、全地区で取り組む２つの共通テーマを設けました。

第３期磯子区地域福祉保健計画（全体像）。基本理念。「誰もが幸せに暮らせる町をめざして」。基本目標。１。共に支え合うお互いさまの町。２。いきいきと自分らしくすごせる町。３。地域の力が発揮できる町。

地区別計画

　福祉保健などの地域課題は、各地区を取り巻く環境などから一律にして解決しにくいのが現状です。それぞれの地区の実情に合わせた地区別計画を策定し、推進しています。

　地区の皆さんと一緒に区役所、区社協、地域ケアプラザが連携して取り組んでいきます。

共通テーマ①身近な地域の支え合いを進めよう

　住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、子どもから高齢者まで、身近な地域で支えあっていくことが大切です。

そこで、日頃から向こう三軒両隣といった、顔の見える関係を作り、災害時にも近隣で助け合えるよう、各地区で取組を進めていきます。

共通テーマ②地域ぐるみの健康づくりを進めよう

　いつまでも健やかに暮らしていくためには、日頃から健康づくりに取り組むことが必要です。地域の中で健康づくりをテーマに活動を広げると、人と人とのつながりも生まれ、地域の活力の向上にもつながります。

そこで、一人ひとりの健康に対する意識を高め、誰もが心身共に健やかで、いきいきと生活が送れるよう、各地区で取組を進めていきます。

自由テーマ。

３ページ

共通テーマ①の例。顔の見える関係づくり。食事会やサロンを通して！

共通テーマ②の例。健康づくり。　地域で無理なくできる体操で！

共通テーマ①と②の例　人と人とのつながり。幅広い世代で交流し、地域の中で！

「区役所・区社協・地域ケアプラザの取組」

区役所・区社協・地域ケアプラザが連携し、「地区別計画」や地域活動の推進に向けた取組を進めていきます。

地域に身近な機関である地域ケアプラザの機能を生かし、地区の実情に応じた支援を進めます。区全体で取り組むべき課題については、幅広い分野の施策を展開する区役所と、様々な団体とのネットワークを生かし、事業を進めている区社協が中心となり、地域ケアプラザと協力して取り組んでいきます。

「区役所・区社協・地域ケアプラザの取組」

地域の暮らしを支援。

取組１　自分らしく暮らせるための支援をします。

取組２　子育てしやすい地域をつくります。

取組３　健康づくりを進めます。

地域の活動を支援。

取組１　地区別計画の推進体制を支援します。

取組２　地域の活動が活発になるよう支援します。

地域の暮らしを支援の例。

救急医療情報キットを活用し、地域で顔の見える関係づくりや災害時要援護者把握に！

救急医療情報キットとは。

　万が一の救急時に備えて、あらかじめ緊急連絡先や持病等の情報を専用のシートに記入し、容器に入れて、自宅の冷蔵庫に保管しておくものです。磯子区役所福祉保健課にて配布しています。

裏表紙

各地区の地区別計画の推進組織。

根岸地区。

推進組織：ハッピー根岸推進委員会　キャッチフレーズ「支え合う、やさしい町、根岸」。

滝頭地区。

推進組織：スイッチＯＮ磯子滝頭地区推進委員会　キャッチフレーズ「人に優しく滝頭」。

岡村地区。

推進組織：岡村地区スイッチＯＮ磯子推進委員会　キャッチフレーズ「未来へつなごう岡村の輪」。

磯子地区。

推進組織：磯子地区福祉保健計画推進委員会　キャッチフレーズ「みんなが住みたい町磯子」。

汐見台地区。

推進組織：スイッチＯＮ磯子汐見台地区推進委員会　キャッチフレーズ「安心して暮らせる豊かな町汐見台」。

屏風ヶ浦地区。

推進組織：スイッチＯＮ磯子屏風ヶ浦地区推進委員会　キャッチフレーズ「人のやさしさがつながる屏風ヶ浦」。

杉田地区。

推進組織：スイッチＯＮ磯子杉田地区推進委員会　キャッチフレーズ「支え合い、明るい杉田でみな元気」。

上笹下地区。

推進組織：スイッチＯＮ磯子上笹下地区推進協議会　キャッチフレーズ「自然と共に生きる町上笹下」。

洋光台地区。

推進組織：スイッチＯＮ洋光台推進協議会　キャッチフレーズ「こんにちは！笑顔の行き交う洋光台！」。

スイッチＯＮ磯子の計画案内役「梅さん」のプロフィール。

生年月日　平成18年４月１日（磯子区地域福祉保健計画の開始日です）。

出身地、磯子区。身長・体重、30cm、３kg。

趣味、人と集い、遊ぶこと。

特技、みんなを笑顔で元気にすること。

好きな言葉、人情。嫌いな言葉、ひとりぼっち。

身近な地域の活動を紹介している「まめ通信」も発行しています！

この計画の情報は、磯子区役所・磯子区社会福祉協議会のホームページにも掲載しています。

横浜市磯子区　福祉保健課　運営企画係。郵便番号235-0016

横浜市磯子区磯子3-5-1。

電話　045-750-2442。ファックス　045-750-2547。

Ｅメールアドレス　is-fukuho@city.yokohama.jp

社会福祉法人　横浜市磯子区社会福祉協議会。郵便番号235-0016

横浜市磯子区磯子3-1-41。

電話　045-751-0739。ファックス　045-751-8608。

Ｅメールアドレス　info@isoshakyo.com

平成28年３月発行。